

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

ありがとうございます

高橋義希さん・ウイントス君



2021年にサガン鳥栖を引退された高橋義希さん（現：サガン・リレーションズ・オフィサー）と、サガン鳥栖のマスコットキャラクターのウイントス君が、本校に来てくださいました。

朝早くから校門のところで挨拶運動をしてくださいました。子供たちは、教室にも入らず、校門のところで笑顔で触れ合っていました。

朝の時間は1・2年生と「次郎かるた」を一緒にしてくださいました。高橋義希さんの負けず嫌いなところが、子供たちとの真剣勝負につながったり、ウイントス君は大きな手？羽？で、一度に何枚もかるたをとったりしていました。高橋義希さんやウイントス君が子供たちのグループに来られると、子供たちはとても嬉しそうな笑顔になっていました。

また、1時間目は、高橋義希さんが、5・6年生に「夢」についてお話をしてくださいました。何度も挫折を繰り返しながらも、好きなことを続ける努力をし、夢を追い続けられたお話に勇気をもらいました。



2時間目は、3・4年生にサッカー教室をしていただきました。子供たち対大人でサッカー対決をしたのですが、高橋義希さんのさすがのボールさばきや、ウイントス君の思いもよらない軽快な足さばきに驚かされました。

是非、またおいでいただきたいなと思います。

～高橋義希さんのお話から～

自分自身が大きく成長したと思うのは、夢をもってからだそうです。それまで、漠然としたものしかなかったのが、「プロのサッカー選手になる」という夢をもった時、そして、「サガンを優勝させる」「サガンで引退する」という明確な夢をもち努力した時、自分は大きく成長したと感じたそうです。

「努力は報われるのか」という問いに対し、高橋義希さんは「努力したら必ず成長する」「成長の先の成功がある」と話されました。

夢を叶えるため・成功するためには、まず夢をもち、夢に向かって努力することが大切だと教えてくださいました。

また、以前サガン鳥栖の他にも、ベガルタ仙台に所属されており、その時東日本大震災に遭われています。普段の日常が奪われ、当たり前前のが当たり前でなくなった経験をされています。夢を叶えていく際に、いろいろな出合いやかかわりに「感謝」するのはもちろん、当たり前前にも感謝する気持ちをもちましようとお話ししてくださいました。

高橋義希さんは、夢の1つであった「サガンで引退する」を果たしました。そして、毎日様々なことに感謝しながら、「サガンを優勝させる」というもう1つの夢を叶えるため、選手を引退した今でも様々な形で努力を続けていらっしゃるそうです。